事例No.	2400
公表年度	R5
団体の属性	一般市
団体名	岐阜県恵那市

事例区分	DX

タグ	・教育・子育て ・ICT ・少子化・人口減少

事例種類	教育の活性化

事例内容・タイトル

恵那南部地域中学校遠隔交流事業

出典

総務省ホームページ

恵那南部地域中学校遠隔交流事業（岐阜県恵那市）

【事業背景】

R4.11時点

○市内南部地域は、人口減少率が高く、小中学校の児童生徒数も減少。
○小規模校となっており、学習の質の維持や「学び」への意欲低下等が課題。

【事業実施主体】恵那市
【R3交付金活用額】20,000千円

【取組内容】

【令和3年度実施した事業】

○南部地域の5中学校に、大型ディスプレイを組み合わせて教室全体を映し出す大きなモニターウォール2面と、相手校の板書を映し出しつつ自校でも書き足すことが可能となるプロジェクター・ホワイトボード1面を設置し、他校や外部とつなぐ。
○複数学校で生徒間交流、教科合同授業などのオンライン交流活動を実施。
○先進的な取組として、本プロジェクト内容を周知。

【教科合同授業の様子】ホスト校A校からみたA・B中学校合同授業風景





※向かって右のディスプレイにB中学校を、左ディスプレイに両校の生徒の考えを掲示

【5校による生徒間交流の様子】



【成果（令和3年度）】

○3月に整備が完了し、オンライン交流活動を4回実施した 。遠隔交流後には生徒から「普段のクラスでは出ないような意見が聞け、そんな意見もあるんだと驚いた」といった感想が出るなど、多様な意見に触れる機会となった。また、通常であったら距離的な事情から交流できなかったところ、オンラインによる専門家と生徒の交流が実現するなど学びの機会が広がった。

【令和4年度実施予定の取組】

○生徒間交流や教科合同授業等を月1回、継続して実施。
○専門分野の外部講師による講話を実施。
○引き続き、HPなどで周知。